

平成 23 年漢方薬・生薬研修会 試験問題 (解答付)

問1 下の、生薬-特異成分-薬理作用の組み合わせ a～d のうち、正しいもの2つを選び解答欄【1】、【2】にそれぞれ1つ、記号で書け。

- | | | | | |
|--------------|---|-----------|---|---------|
| a. センブリ(当薬) | — | スウェルチアマリン | — | 苦味健胃作用 |
| b. シャクヤク(芍薬) | — | シノメニン | — | 鎮痙作用 |
| c. トコン(吐根) | — | エメチン | — | 催吐、去痰作用 |
| d. ジギタリス | — | コルヒチン | — | 強心作用 |

答 【1】a or c 【2】 c or a

問2 5種の漢方処方、a) 半夏厚朴湯、 b) 六君子湯、 c) 清心蓮子飲、d) 芍薬甘草湯、 e) 釣藤散 のそれぞれに対して、最も適切な使用目標を下記の使用目標群 ア ～ オ から選び記号で答えよ。

	漢方処方	使用目標
a	半夏厚朴湯	【3】
b	六君子湯	【4】
c	清心蓮子飲	【5】
d	芍薬甘草湯	【6】
e	釣藤散	【7】

使用目標群

- (ア) 筋肉のけいれん、こむらがえり、けいれん性疼痛、腰痛 など
- (イ) 脾胃虚弱、胃もたれ、食欲不振、心下部膨満感 など
- (ウ) 精神神経症状(不安、気うつ)、胃腸症状、咽頭異常感、動悸 など
- (エ) 高血圧症状(耳鳴り、めまい、肩こり)、神経過敏、不眠、眼精疲労による凝り(こり) など
- (オ) 無菌性膀胱炎、頻尿、残尿感、冷え など

答 【3】 ウ 【4】 イ 【5】 オ 【6】 ア 【7】 エ

問3 次の文の空欄、【8】～【16】に入れるのに最も適した語句を下の語句群から選び、該当する記号を解答欄に記せ。

人参は【8】科の植物、オタネニンジン(学名 *Panax ginseng*)の【9】を薬用部位とする生薬で、新鮮材料を乾燥した【10】と、蒸した後に乾燥した【11】に大別される。【11】を調製する際に行われるような処理操作を、一般に修治とよぶ。

附子は【12】科の植物、ハナトリカブト(別名 カラトリカブト)(学名 *Aconitum carmichaeli*)の【13】を薬用部位とする生薬で、燻す、蒸す、煮るなどの修治を行い減毒する。その結果、新鮮材料に含まれる【14】などの猛毒性アルカロイドが、【15】や【16】などの毒性の弱いアルカロイドにかわる。

語句群

- a) ウコギ b) キンポウゲ c) ショウガ d) 子根(塊根) e) 根茎 f) 根
g) 紅参 h) 白参 i) 附子 j) 川烏頭 k) 生姜 l) 乾姜
m) 姜黄 n) ギンゲロール o) ショウガオール p) リポアコニチン
q) アコニチン r) ベンゾイルアコニン

解答

【8】	【9】	【10】	【11】	【12】
a	f	h	g	b
【13】	【14】	【15】	【16】	
d or f	q	p or r	r or p	

問4 日本薬局方生薬の確認試験において、薄層クロマトグラフィー法で適用される標準液物質に対応する生薬名(A)および基原植物名(B)の空欄に入れるのに最も適当な語句を下の語句群から選んで記号で答えよ。

標準液物質	生薬名(A)	基原植物名(B)
ゲニポシド	【17】	【18】
バイカルン	【19】	【20】
アミグダリン	【21】	【22】
ペオノール	【23】	【24】

語句群

生薬名(A)	a) オウゴン	b) トウニン	c) サンシシ
	d) ボタンビ		
基原植物名(B)	ア) クチナシ	イ) コガネバナ	ウ) ボタン
	エ) モモ		

解答

【17】 c 【18】 ア 【19】 a 【20】 イ 【21】 b
 【22】 エ 【23】 d 【24】 ウ

問5 下のA群は中国および日本の本草書、医学書である。それぞれについて著者あるいは編者とされる人の名をB群から選び記号で答えよ。

A群 (1)本草綱目 (2)本草綱目啓蒙 (3)大和本草 (4)薬徴
 (5)傷寒論

B群 (ア)吉益東洞 (イ)小野蘭山 (ウ)貝原益軒 (エ)李時珍
 (オ)張仲景

A 群	B 群
(1)本草綱目	【25】
(2)本草綱目啓蒙	【26】
(3)大和本草	【27】
(4)薬徴	【28】
(5)傷寒論	【29】

解答

【25】 エ 【26】 イ 【27】 ウ 【28】 ア 【29】 オ

問6 大黃の薬理作用として特に重要なものを、下の a)～e) から2つ選び、解答欄【30】、【31】にそれぞれ1つ、記号で書け。

- a 瀉下作用 b 血圧上昇作用 c 向精神作用 d 脳血管拡張作用
e 強心作用

解答 【30】 a or c 【31】 c or a

問7 空欄【32】、【33】、【34】にあてはまる漢方処方構成生薬を、下記の生薬 a～e から選び、記号で答えよ。

- (1)小柴胡湯 =柴胡、半夏、生姜(または乾姜)、黄芩、大棗、【32】、甘草
(2)当帰芍薬散=当帰、川芎、芍薬、【33】、蒼朮(または白朮)、沢瀉
(3)小青竜湯 =【34】、芍薬、乾姜、甘草、桂皮、細辛、五味子、半夏

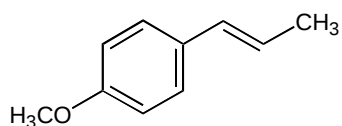
- a 麻黄 b 芍薬 c 杏仁 d 人参 e 茯苓

解答 【32】 d 【33】 e 【34】 a

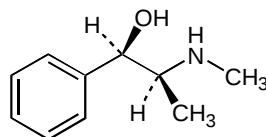
問8 設問 1)～ 4)の記述に対応する生薬成分の構造式番号と名称(カタカナ)を記せ。

- 1) ロートコンに含有されるトロパン型アルカロイド
- 2) オウレン(黄連)あるいはオウバク(黄柏)に含まれる苦味健胃作用成分
- 3) マオウ(麻黄)に含まれる交感神経興奮作用成分
- 4) ウイキョウ(茴香)の精油に含まれる芳香健胃作用成分

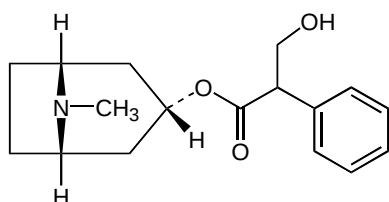
構造式



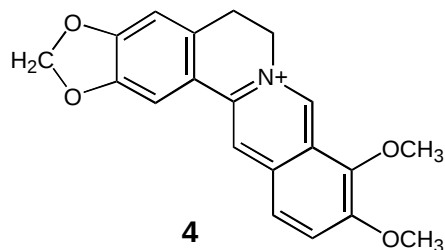
1



2



3



4

設問番号	構造式	成分名
1)	【35】	【36】
2)	【37】	【38】
3)	【39】	【40】
4)	【41】	【42】

解答 【35】 3 【36】 アトロピン or ヒヨスチアミン
 【37】 4 【38】 ベルベリン
 【39】 2 【40】 エフェドリン
 【41】 1 【42】 アネトール

問9 健康食品(機能性食品を含む)やサプリメントが広く使われている。これらの使用にあたって、注意すべき点を簡潔に記せ。 【43】

解答例

服用している医薬品と相互作用をおこす恐れがある。

機能性成分の濃縮物を過剰摂取することで健康障害をおこす恐れがある。

品質が保証されない類似品が出回る恐れがある。

効能、効果に対する過大な期待。

医薬品が必要なときに健康食品を代替えにつかって治療の機会を逸する恐れがある。

等

キーワード例

健康被害 相互作用 過剰摂取 品質保証 安全性の過信
有効性の過信 等

問 10 漢方処方構成生薬が、人参、白朮(蒼朮も可)、黄耆、当帰、陳皮、大棗、柴胡、甘草、生姜、升麻である処方に関して、別紙に5枚の植物の写真と5枚の生薬の写真がある。関連する設問に答えよ。

- 1) 写真1～写真5に関して、基原植物名を植物名群 あ～お から選び、記号で答えよ
- 2) それぞれの植物に対応する生薬を生薬の写真 a ～ e から、さらに生薬名を生薬名群 A～E から選び、解答用紙の当該欄に記号で記せ。【44】～ 【58】

植物名群

- (あ) オケラ (い) キバナオウギ (う) トウキ
(え) ウンシュウミカン (お) ナツメ

生薬名群

- A:陳皮 B:白朮 C:当帰 D:大棗 E:黄耆

- 3) 文頭の生薬10種で構成されている漢方処方の処方名(【59】)および使用目標(【60】)を下記語句群から選び、解答用紙の当該欄に記号で記せ。

語句群

- (ア)大建中湯 (イ)人参湯 (ウ)補中益気湯 (エ)病後の体力低下
(オ)腸管通過障害 (カ)不眠

植物写真	植物名	生薬写真	生薬名
写真1	【44】	【45】	【46】
写真2	【47】	【48】	【49】
写真3	【50】	【51】	【52】
写真4	【53】	【54】	【55】
写真5	【56】	【57】	【58】

処方名 【59】 使用目標 【60】

解答

【44】 あ 【45】 b 【46】 B 【47】 う 【48】 c 【49】 C
【50】 え 【51】 a 【52】 A 【53】 お 【54】 e
【55】 D 【56】 い 【57】 d 【58】 E

処方名 【59】 ウ 使用目標 【60】 エ

植物の写真



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5

生薬の写真



a



b



c



d



e